

抄 録 集

教育講演（院内感染予防対策認定医・歯科衛生士講習会） 11月14日 13:30～15:30

『今春の豚インフルエンザの反省と今後の対策と展望』

座長 西脇市立西脇病院歯科口腔外科 谷垣 信吾
足利赤十字病院歯科口腔外科 山根 伸夫

近年、専門家の間では新型のインフルエンザによる感染が起こる日は遠くないと言われていたが、ついに今春5月に日本にも上陸してきた。しかし以前から懸念されていた高病原性の「鳥インフルエンザ」ではなく、低病原性の「豚インフルエンザ」であった。当初どちらも「新型インフルエンザ」といわれ、一般の人の中には前者と後者が混合されている部分も大きかった。ここに今回のインフルエンザ対策の混乱があったのではなかろうか。まだ今回の新型インフルエンザの流行が終わったわけではないが、一体何がどう混乱していたのであろうか？と検証することは意義があると思われる。また今回の対策のどこに無理、無駄があったのであろうか？さらに今回足りなかったことは何だったのか？ということを検証しつつ、今後何を備えるべきか？ということを考える必要がある。これらのお話を佐野厚生病院副院長の山口佳寿先生に伺う予定である。

一方、いままでの歯科の診療所の対応に目を向けると、インフルエンザ対策はなおざりにされてきた感はある。今後日本歯科医師会としてどう取り組んでいくかの概要や流行期の対策などにつき日本歯科医師会常任理事の中尾薫先生と日本歯科医師会感染対策委員会 WT のリーダーを務める東海大学の金子明寛先生にお話しいただこうと思う。

さらに歯学部や衛生師の養成期間などではどのように対応を行い、今後さらなる流行時の対応計画などについて東京歯科大学衛生士専門学校の多田美穂子先生にお聞きする予定である。

なにぶん人類が未経験の範疇の話でその対策も流動的ではあるが、冷静かつ合理的な対応が求められることは言うまでもないことであろう。